

《研究課題名》入院死亡症例における DNAR 取得・意思確認の現状

《研究対象者》2020年4月1日～2025年3月31日までに滋賀医科大学医学部附属病院で入院中に亡くなられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方のご遺族におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2030年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学医学部附属病院医療安全管理部 講師 萬代良一

（2）研究の意義、目的について

《意義》

特定機能病院においては全死亡例の医療安全管理部門への報告が義務化されており、滋賀医科大学医学部附属病院においては、入院症例は電子カルテ上に死亡退院登録をすると、自動的に医療安全管理部に報告が入るシステムを構築し、毎営業日の朝、専従医療安全管理部員がレビューを行い、診療経過が適切であったかを吟味し、DNAR やリビング・ウィルが適切に運用されているかを評価しています。本研究により、診療過程が適切に行われていたか、終末期医療が適切に行われていたかを検証します。

《目的》

人生終末期医療における意思確認の状況を明らかにします。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

2020年4月～2025年3月の全入院死亡症例についてカルテレビューを行い、診療過程が適切であったか、DNAR が適切に取得されていたか、リビング・ウィルが取得されていたか、意思確認の決定者を検討します。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

診療録より診療科、死亡日、DNAR 取得の有無、DNAR の意思決定者、リビング・ウィル取得の有無の情報を取得します。

《本研究に用いた試料・情報の二次利用について》

この研究で有用な知見が得られた場合、今回ご提供いただいた情報を用いて人生終末期医療における意思確認の状況を明らかにする研究の実施を予定しています。後続の研究で使用する際は改めて倫理審査委員会において承認を得てから行います。また、本学附属病院のホームページ (<https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/ethics/index.html>) でその旨についての情報を公開いたします。

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学医学部附属病院医療安全管理部 講師 萬代良一

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2350

メールアドレス：mandai@belle.shiga-med.ac.jp